

(案)

# 巡回バス運行改善の提言書

－巡回バスの見直しに向けて－

令和元年〇月

愛西市巡回バス運行検討委員会

令和元年〇月〇日

愛西市長 日永 貴章 様

巡回バス運行検討委員会  
委員長 伊豆原 浩二

### 巡回バス運行改善の提言書

愛西市巡回バス運行検討委員会（以下「本委員会」といいます。）は、巡回バス事業について必要な事項を検討するため平成24年度に設置され、述べ〇回にわたり委員会を開催し、市民の生活範囲、巡回バスに対する市民の様々な意見等を集約するとともに、愛西市の現状、バスの利用状況等を分析し、様々な視点から巡回バス事業について検討してまいりました。

この度、その検討結果をまとめましたので、要綱第2条の規定に基づき本委員会の検討結果を、提言として提出いたします。

巡回バス事業は、交通空白地域にお住まいの市民生活に直結する重要な事業であります。貴職におかれましては、この提言を可能な限り反映した事業の改善を進め、市民サービスの一層の向上に向けて取り組まれることを強く要望いたします。

## 提言書

### 1. 提言に至った経緯

愛西市の巡回バスは、平成 26 年 4 月 1 日に改正を行い、合併前から佐屋・佐織地区で運行していたのと同水準の内容で、立田・八開地区でも運行を開始し、現在に至っています。また平成 28 年 12 月 1 日から海南病院ルート of 試験運行が行われています。

市民の交通手段は、全体として自動車の割合が高くなっていますが、自動車という移動手段を持たない方に対してのサービスとして地域巡回バスを運行しているものの、前回の改正から約 5 年が経過し、社会情勢とともに市民の意識やニーズも変化してきました。

そこで、地域公共交通を取り巻く状況の変化を踏まえ、今後の愛西市における地域公共交通の活用等に向けた効果的な施策を探るために検討を進めることが必要と判断しました。

また、海南病院ルートについては本年後より正式運行として運行していただいています。

愛西市巡回バス運行検討委員会では、検討資料をもとに日常生活におけるバスに対するニーズや利用者からの意見等について様々な意見交換をし提言としてまとめました。

### 運行検討委員会

開催回数	日時	主なテーマ
第 1 回	平成 29 年 12 月 14 日 (木)	委嘱状の交付、自己紹介、正副委員長の互選、巡回バスの運行について
第 2 回	平成 30 年 9 月 3 日 (月)	今回の改訂について、海南病院ルート of 試験運行について

第3回	平成30年11月1日(木)	立田ルート・八開ルートについて、佐屋ルートの要望について
第4回	平成30年12月19日(水)	立田ルートについて、八開ルートの乗車アンケートについて
第5回	平成31年3月8日(金)	立田ルートについて、八開ルートについて
第6回	平成31年4月25日(木)	立田ルート・八開ルートについて、津島市民病院について
第7回	令和元年6月27日(木)	津島市民病院について
第8回	令和元年9月24日(火)	提言書について
第9回	令和元年10月31日(木)	提言書について

## 2. 提言内容

### 提言1 バス利用促進のための継続的な周知啓発活動の必要性について

巡回バス等を利用して日常生活を一層充実して頂くためには、行政だけでなく各委員や老人クラブなどを含む地域の様々な方が積極的に関わり、推進していく必要があります。

市民にとっては巡回バス等を身近な存在として感じていただき、利用を促進して頂くことが重要なため、周知啓発活動の実施を検討して頂きたい。

この周知啓発活動については、長期的で継続的な活動が必要と考えます。

### 提言2：改善の検討

今後の愛西市の巡回バス等は、現状維持ではなく、利用実態等に即して改善の検討を継続して行っていく必要があると考えます。

改善を検討する内容としては、以下に記載しますが、早期に実現可能なものから検討し、実施すべきと考えます。

### 提言 2-1 海南病院ルートダイヤ及び津島市民病院への乗り入れの検討について

- ・試験運行としている海南病院ルートについて、現在の利用状況やニーズに鑑みて本年度より正式運行に移行していただきましたが、今後についても利用状況や所要時間をみてより良い方式にて運行する必要があると考えられます。
- ・津島市民病院へ乗り入れ可能な体制を早期に整え実現に向けて交渉すべきと考えます。
- ・他市町村への乗り入れを検討する場合には、運行方式及び経路も見直す必要があると考えます。その際には愛西市にあった方式を探ってい行くことが肝要と考えます。

### 提言 2-2 バス停の改善

- ・地域毎に利用頻度に差がみられるため、ルート及びバス停の位置を検討すべきと考えます。また、乗降に際し、危険と判断される場所については、再度地域単位での見直しを検討すべきと考えます。
- ・立田・八開ルートについて、バス停の数が少なく利用がしづらいのでルートの見直し及びバス停の増設を検討すべきだと考えます。

### 提言 2-3 運行ダイヤの改善

- ・運行ダイヤの調整を検討すべきと考えます。
- ・運行の所要時間はルートとバス停の数に大きく影響しますので、ルートとバス停の数を決めてから、時間配分を考えていくことが必要だと考えます。
- ・朝の渋滞や無理なダイヤの見直しを検討すべきと考えます。ただし、乗入先の営業時間に合わせたダイヤを検討する必要があると考えます。

#### 提言 2-4 有料化についての検討

- ・市の財政状況を鑑みても、受益者負担によるバスの運行として有料化について検討が必要と考えます。
- ・その際には、有料化によるメリット・デメリットを検討し、市の財政状況及び市民ニーズに即した料金体系や金額、また現行の運行形態ではなく、デマンド式等での有料化の可能性を含めて検討する必要があると考えます。
- ・公共交通としてのバスと福祉目的のバスとの役割を検討し、対応する必要があると考えます。